

### 協働の まちづくり

## 誰もが活躍できる協働のまちづくり

### 背景

少子高齢化による人口減少が進む中、地域やまちづくり活動の運営に支障がでるなど、活動の持続性が課題となっています。

また、人権の問題については、男女や障がい、移住者に対し、古くからの慣習や、障がいの特性等の知識・理解不足が、思い込みや勘違いとして意図しない偏った見方や行動につながる場合があります。不要ないさかいを無くすためにも一層の普及啓発活動が求められます。

大規模・複雑化する地域課題を解決するためには、町民や地域、団体、企業のみならず、町外の人材や事業者等、あらゆる主体が対話を深め自分事として関わっていくことが必要です。交流・関係人口など、小値賀に関わる全ての方たちのご協力が必要です。

「協働のまちづくり」の柱では、それらのあらゆる主体の人権が尊重される社会のもと、まちづくり活動を推進するために町民の町への愛着や誇りを育み、地域活動へつなぎ広がる好循環を生み出すための戦略で構成しています。



## 目指すまちの姿と基本戦略

### 目指すまちの姿

・地域活動を行うあらゆる主体が支えあい連携し、持続可能な地域共生社会づくりが進んでいる

・全ての町民の人権が尊重される地域社会となっている

### 基本戦略

▶▶ 11 まちや地域への愛着と誇りを育み、地域活動へとつなげ、持続可能なまちづくりを推進する

→P106

▶▶ 12 全ての町民の人権が尊重される地域社会を実現する

→P110

## 成果指標

目標項目	現状値	目標値(令和10年度)
地域活動に2種類以上取り組む町民の割合	未把握	80%



## まちや地域への愛着と誇りを育み、 地域活動へつなげ、持続可能なまちづくりを推進する

### 目指す まちの姿

地域活動を行うあらゆる主体が支えあい連携し、持続可能な地域共生社会づくりが進んでいる

### 現状・問題点

- 町内の地区会長がいる地区数32地区のうち、21地区・約65%が高齢化率50%を超えている。
- 高齢化により農道維持作業など「役目」に係る重労働作業の継続が難しくなっている。
- 人手不足により地区のお祭りや葬儀など地域の行事運営の継続が難しくなっている。
- まちの魅力を発信する人材が高齢化しており、担い手が不足している。
- 野崎島については、地理的要因による交通アクセス面の影響で足を運び難い。
- まちへの貢献活動に対する支援体制が整っていない。

### 町民の声

- 「将来像の実現に町民全体で取り組んでいく」ことを重要であると答えた方は68.8%で、全体的に意識が高い。
- 小値賀町の魅力を町民が伝えようとする、愛着や誇りが薄らいでいるように感じるため、小値賀町の良いところや魅力をもっと町民レベルで発信できるように役場としても動いて欲しい。

### 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 地区の将来をみんなで対話を深め考える機会の確保</li> <li>▪ 地域課題解決に対するあらゆる主体による支援体制の整備</li> </ul>	施策(31)
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 世界文化遺産をはじめとした資源の保護活動の普及と継続</li> <li>▪ 全世代を対象とした歴史文化を学ぶ機会の確保と継承</li> <li>▪ 町民のまちに対する愛着や誇りの醸成</li> </ul>	施策(32)

## 施策と主な取り組み・目標値

### 施策(31) 安定した地区やまちづくり活動の運営基盤の整備に係る支援の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援			関係課
		町民	地域	行政	
地域	<p>●郷(ふるさと)再生支援事業</p> <p>持続可能な地域コミュニティ活動を維持・活性化することは、町全体の持続可能なまちづくりの基本であることから、地区ごとのまちづくり活動を支援します。</p>				企画係 全課
	<p>●おぢか未来会議</p> <p>地区、暮らし、しごとなど、テーマを設けて町民みんなで対話を深めまちの将来を考える機会を確保します。</p>				企画係 全課
	<p>●外部人材の活用</p> <p>地域おこし協力隊等、国の制度を活用しつつ、あらゆる主体による地域の課題解決に向けた取り組みや円滑な運営を支援します。</p>	 	 	 	企画係 全課
	<p>●まちづくり活動支援事業</p> <p>まちづくり活動の支援制度や窓口を統合するなど体制を見直し、活動の活性化を図ります。</p>				企画係 全課












### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
おぢか未来会議の開催回数	6回 (令和4年度実績)	期間累計	30回



おぢか未来会議

施策(32) 愛着や誇りを増幅していく好循環の形成

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援 			関係課
		町民	地域	行政	
文化財	<p>●世界文化遺産保存活用推進事業 <b>未来会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産「野崎島の集落跡」の魅力に触れる世界遺産ツアー</li> <li>・世界遺産保護のボランティア活動「野崎島レスキュー隊」事業</li> <li>・担い手となる「野崎島の集落跡」世界遺産マイスターの育成</li> <li>・「おぢか愛」の醸成を目的とした小学校児童への世界遺産学習</li> </ul>				文化財係
まちづくり	<p>●どんこんおぢか大作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おぢか愛」をもつ町民を増やし、「おぢか愛」に触れた人がおぢかを好きになっていく好循環をつくります。</li> <li>・小値賀を知る機会の提供 (講座、インターネット、広報誌等での発信、小値賀巡りなど)</li> <li>・小値賀の情報を発信するためのスキル講座など</li> </ul>	 	 	 	企画係 全課

成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
<p>まちに愛着や誇りをもち町民の割合</p> <p>【参考】令和4年度町民アンケートにおいて、今後も小値賀町に住み続けたいと答えた方のうち、生まれてからずっと住んでいて町に愛着を感じているからと答えた方の割合は43.9%</p>	未把握	↑増加	80%



世界遺産ツアー



世界遺産学習の様子

## 11 まちや地域への愛着と誇りを育み、地域活動へとつなげ、持続可能なまちづくりを推進する



野崎島レスキュー隊 事業説明の様子



野崎島レスキュー隊の様子



野崎島レスキュー隊 集合写真

## 全ての町民の人権が尊重される地域社会を実現する

### 目指す まちの姿

全ての町民の人権が尊重される地域社会となっている

### 現状・問題点

- 本町は、県内で唯一男女共同参画計画が策定されていない自治体であり、国が求める男女共同参画社会づくりのための施策に取り組むことができていない。
- 男女平等、男女間格差、人権についての話題が大きく取り上げられたという事例はなく、問題として表面化しておらず、実態の把握が困難である。
- 年2回の人権相談を実施しているが、相談員が町民であるため、小値賀町民には相談しづらいという心理が働き、相談件数はごく少数であること。
- 公共施設のバリアフリー化が不十分である。

### 町民の声

- 一般の方の障がい者への理解が不足しています。
- 「福祉・保健・医療について、特に力を入れるべきだと思う項目」について、「障がい者が安心して暮らせるための支援の充実」を16.6%の方が選んでおり、課題だと感じている方が多い。

### 課題

- 男女共同参画社会の実現

施策(33)

- 人権教育活動、啓発活動の機会の提供
- 公共施設へのユニバーサルデザインの導入

施策(34)



男女共同参画研修会



## 施策と主な取り組み・目標値

### 施策(33) 男女共同参画社会の実現

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援			関係課
		町民	地域	行政	
人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女共同参画促進事業</li> <li>・男女共同参画計画の策定及び計画に基づく施策の展開</li> <li>・固定的役割分担意識(ジェンダー)の解消に向けた意識啓発</li> <li>・ジェンダー平等を実現するための教育の推進</li> <li>・「仕事」「家庭」「地域」の場で、男女共同参画の視点から、セミナーの開催と啓発活動。(地域コミュニティに対して、男性の育休、介護休暇等の理解を深めてもらう機会をつくる、男性の家事・育児・介護への参画を促す、地域における女性のリーダーを育成するなど)</li> </ul>				総務係

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
男女共同参画社会が実現している またはどちらかといえば 実現していると答えた人の割合	13% (令和5年度実績)	↑増加	30%

### 施策(34) 人権に対する意識向上の推進

分野	主な取り組みと方向性	主体  支援			関係課
		町民	地域	行政	
人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権教育・啓発強化事業</li> <li>・人権教育・啓発活動を推進します。</li> <li>・人権擁護委員の研修機会を一層充実させると共に、県等との連携により人権相談活動の強化を図ります。</li> <li>・「人権の花運動」として、小学校に花の種を配り、育ててもらうことで、人権尊重思想を浸透させます。</li> <li>・障がいや他者との違いに対する理解を深めるための講座や情報発信を通じ、誰もが生きやすい社会づくりを推進します。</li> </ul>				社会教育係 戸籍係 福祉係
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユニバーサルデザイン導入</li> <li>公共施設の改修及び新設に合わせて、ユニバーサルデザインの導入を進めます。</li> </ul>				全課

#### 成果指標

目標項目	現状値	目標値の方向	令和10年度 目標値
人権講座年間実施回数	0回(令和4年度実績)	↑増加	3回
公共施設新設時の ユニバーサルデザイン導入率	0%(令和4年度実績)	↑増加	100%